

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立田原小学校		
実 施 期 間	平成26年9月13日（土）～11月27日（木）		
実 施 概 要	①魚つかみ大会 ②田原地区敬老会参加 ③土曜参観・芸術鑑賞会 ④田原ふれあい文化祭 ⑤備蓄米贈呈式 ⑥授業参観・教育講演会・もち米販売活動 ⑦老人福祉施設「ほほえみごごち田原」との交流 ⑧福祉交流会		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	6 0 0 人	計 6 3 0 人
	地域関係者	3 0 人	
実 施 状 況 ・ 成 果 及 び 課 題	○9月13日（土）青少年健全育成協議会田原支部の活動を受けて、PTA子供会育成委員会が協力し、田原小学校のプールを使って、魚つかみ大会が行われた。田原保育園の園児も参加し、保護者・児童・園児合わせて200名ぐらいの活動になった。会に先立って、持ち帰った金魚を育てることで命の大切さを感じることに、岐阜の特産の鮎に関心をもつことなどの話を聞いた。 ○9月14日（日）田原地区敬老会は今年から田原小学校の体育館ではなく、場所を変えて行われることになった。しかし、クラブ員・保護者の発表への意欲と地域からの期待があって、今年も参加してフラダンスを発表した。大変喜んでいただけた。 ○9月19日（金）3年生がふるさと農園を見学した。徒歩で農園まで行く間に農地の利用の仕方を見たり、工業団地の場所を確認したりしながら、地域の様子を学んだ。ふるさと農園では、農産物を生産・販売している様子を見たり、農園経営者の方から願いや思いを聞いたりした。イチゴ農園訪問などと合わせて、農業への興味や関心がもてる活動になった。 ○10月18日（土）午前中に親子芸術鑑賞会として、ジャズコンサートを開催した。初めてのジャズ鑑賞ではあったが、児童に身近な曲を演奏してもらうなど工夫があって、低学年の児童から大いに楽しんだ。午後の授業参観では、土曜日ということで家族の参観が多かった。田原小学校の特色ある教育活動である俳句を取り上げた「句会」を行ったり、道徳の授業公開をしたりした。		

実施状況
成果及び課題

- 11月8日(土) 田原ふれあい文化祭に4年生が「ソーラン」を披露した。また、敬老会に続きフラダンスクラブのダンス披露も行った。3年生が全員絵画の展示を行うことに加えて、各学年の代表の習字や絵画の作品展示、全校児童や保護者による投句も行った。地区の敬老会や文化祭への参加は、児童にとっても保護者にとっても、広く地域の方に学習の成果を観ていただくよい機会としてとらえられている。児童は「発表」を意識して意欲的に練習に取り組むことができ、保護者も送迎や当日の応援など参加に協力的である。また、この2つの大きな行事へは保育園や中学校も参加しており、地域の学校として共に参加・協力していることを、体感する場ともなっている。地域の方からは、児童の様子をみる良い機会として喜んでいただいております、毎年の参加を楽しみにしてもらっている。
- 11月18日(火)に備蓄米贈呈式を全校児童が参加し、田原小体育館で行った。今年から5年生児童が地域の老人会や営農組合の方に教えていただきながら約1反の水田でもち米作りを行った。5年生代表が社会福祉協議会代表の方に、今年度の備蓄米24kgを贈呈した。その後防災についての話を聞いた。昨年度送った備蓄米は、関市防災訓練(田原地区)で炊き出しのご飯として使用され、児童は防災訓練に参加しながら、災害時の地域の役に立っていることがより強くイメージできた。
- 11月21日(金)授業参観・教育講演会を行った。その休み時間に5年生が収穫したもち米の販売を行った。予約券の発行・袋詰め・当日の販売まで5年生が行った。今年は、「田原っ子米」と命名もして販売した。学年でバケツ稲の栽培も行い、すり鉢で各自脱穀しながらひと粒の米の大切さを味わった。米作りの担当学年を5年生にしたことで、昨年課題であった、米づくりの苦労や願い等を深めることにつなげることができた。
- 老人福祉施設「ほほえみごごち田原」との交流は、今年で3年目を迎え、入所の方が子どもたちとの交流を楽しみにしていることを、施設の方から聞く。子どもたちの接し方も会を重ねることで自然な振る舞いができるようになってきている。4年生児童が交流の中心だが、園芸ボランティア委員会が育てた菊を送ることも行っている。
- 11月27日(木)一人暮らしの高齢者との交流は、これまで4年生が手紙を渡すという形で行ってきているが今年度初めて、福祉交流会という形で行った。田原小学校体育館に、次年度入学予定園児(田原保育園やそのほかの保育園や幼稚園)・ほほえみごごち田原の入所者の方・地域の一人暮らしの高齢者の方をお招きし、次のような内容で交流した。
①4年生の音楽発表②一人暮らしの方とご対面③じゃんけん列車と人数集めゲーム④感想交流。2つのゲームでは、園児から高齢者までが、混じり合って楽しむ機会となり笑顔の絶えない時間となった。参加された方からは児童の歌声や会の温かさについて、絶賛と感謝の声が上がった。4年生と園児というような2者の交流だけでなく、世代を超えた交流をコーディネートできた形になった。